

都市再生整備計画 事後評価シート
水辺の里地区

令和2年3月

長野県安曇野市

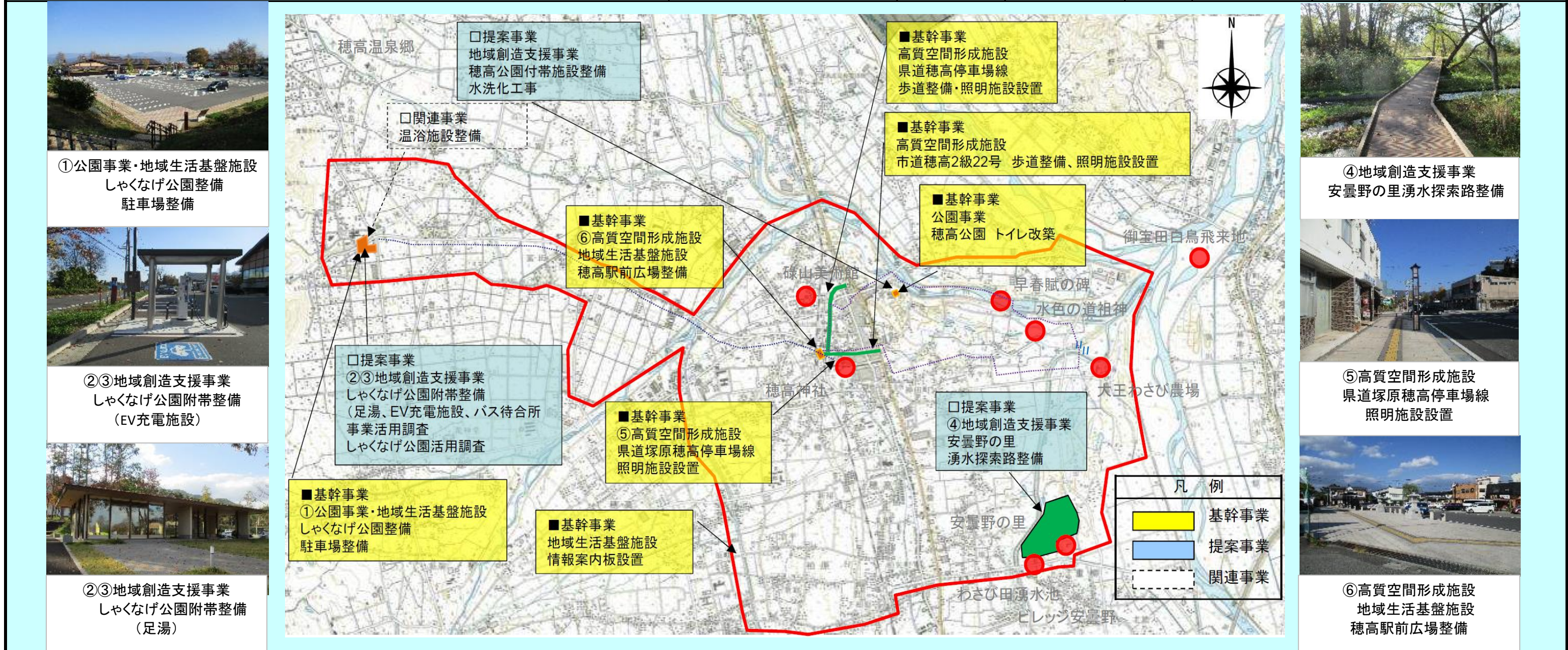
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	長野県		市町村名	安曇野市		地区名	水辺の里 地区			面積	1200ha	
交付期間	平成26年度～平成30年度		事後評価実施時期	令和元年度		交付対象事業費	965百万円	国費率	0.4			
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	公園:しゃくなげ公園・穂高公園、地域生活基盤施設:情報案内板・駐車場(しゃくなげ公園)、高質空間形成施設:県道塚原穂高停車場線(駅広)・県道塚原穂高停車場線(街路灯)・市道穂高2級22号線・県道穂高停車場線(西友通り)									
		提案事業	地域創造提案事業:安曇野の里湧水探索路整備・しゃくなげ公園付帯施設整備・穂高公園付帯施設整備、事業活用調査:しゃくなげ公園									
	当初計画から削除した事業	基幹事業	市道三角島線	事業名			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響		
			穂高駅前駐車場	市道三角島線			地元との協議により、市道の整備済歩道を利用した遊歩道計画に変更し、都市再生整備事業から削除した			影響なし		
			市道三角島線穂高1級2号線	穂高駅前駐車場			一般車両の駐車場を広場内には設けないこととし、事業を削除した			影響なし		
			市道豊科2067・2097号線	市道三角島線穂高1級2号線			街路灯を単独費で実施することになり、事業を削除した			影響なし		
		提案事業	せせらぎ散策路整備	市道豊科2067・2097号線			当初予定していた堤防道路の舗装を、環境資源保護の観点から実施しないこととし、事業を削除した			影響なし		
			穂高駅前通り無電柱化事業	せせらぎ散策路整備			事業用地取得困難のため、事業を削除した			影響なし		
	新たに追加した事業	基幹事業	EV地域周遊バス導入事業			平成27年度に当事業の交付要綱が変更され、車両購入への補助金交付が困難になったため、事業を削除した			指標の一つを削除した			
		提案事業	EV地域周遊バス導入事業			電線管理者からの回答により、実施困難となり、事業を削除した			影響なし			
交付期間の変更	当初	なし			なし			なし				
	変更	なし			なし			なし				
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標	単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
			基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
			平成23年度 平成24年度	平成30年度								
指標1	穂高駅・御法田・穂高有明の歩行者・自転車の総交通量	人/12h	4,268	4,700	2,197	×	あり なし	○	目標値は、平成23年4月から10月まで放送されたNHK朝ドラ「おひさま」の影響を受けている。一時的に増加した数値を目標値としてしまったため、事業効果を数値で評価することが難しい。	—		
指標2	地区内(穂高駅前)の店舗数	店	90	90	90	○	あり なし	○	安曇野の魅力や来訪者の回遊性を高めるため、来訪者が利用する駅前広場や歩道及び周辺施設を整備した。既存商店街の空間整備を行うことにより、既存店舗数の維持につながった。	—		
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	その他の数値指標	単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
			基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
			H26	H25								
その他の数値指標1	計画区域内の来訪者数	百人	32,894						計画区域は、安曇野市の観光拠点となる区域である。インバウンドの効果もあるが、整備を行ったことによる来訪者数の増加につながった。	—		
その他の数値指標2	計画区域内の温浴施設利用者数	人	133,695						関連事業である温浴施設整備としゃくなげ公園整備の相乗効果で温浴施設利用者数の増加につながった。安曇野市の観光拠点のひとつである穂高温泉郷の活性化が図られた。また、公園内に高速バスのバス停が新設された事で、安曇野市の玄関口の一つとして、北アルプス周辺観光のハブ機能を担う事を期待されている。	—		
その他の数値指標3	計画区域内人口	人	21,875						安曇野市総合計画の人口推計では、人口減少が予想されるなか、計画区域内の人口が増加傾向にあり、計画区域内の活性化が図られている。	—		
4) 定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・都市再生整備事業により整備したしゃくなげ公園(温泉公園)については、加温していない天然温泉の足湯等を備え、整備直後から多くのメディア(観光ガイド・旅番組)に取り上げられ、穂高温泉郷の魅力を発信している。 ・平成31年7月には、しゃくなげ公園内にあった市内周遊バスのすぐ横に、新たに高速バスのバス停が新設され、登山シーズン限定、一日上下一便ずつではあるが新宿発の高速バスが停留する事になった事から、しゃくなげ公園が北アルプス周辺観光のハブ的機能を果たす事が今後ますます期待されている。 											
5) 実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等				
	モニタリング	なし			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				—			
	住民参加プロセス	しゃくなげ周辺整備にあたり、基本計画段階からワークショップを開催し、出された意見等を踏まえ施設配置、規模及び内容をまとめることができた。			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● —			
持続的なまちづくり体制の構築	なし			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				—				

様式2-2 地区の概要

水辺の里地区(長野県安曇野市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値
大目標: 安曇野市の財産である良好な自然環境を活用し活力あるまちづくりを目指します。 小目標①: 安曇野を体感し地域資源の価値や暮らしの豊かさを来訪者に伝えます。 小目標②: 既存商店街の空間整備を行い、来訪者の回遊性を高め活力あるまちづくりを図ります。	穂高駅・御法田・穂高有明の歩行者・自転車の総交通量 単位: 人/12h	4,268 H23 H24	4,700 H30	2,197 H31
	地区内(穂高駅前)の店舗数 単位: 店	90 H25	90 H30	90 H31



まちの課題の変化

課題1: 地域の特性を生かした拠点整備→西山エリアの公園整備や、湧水群探索路整備を行い、地域特性を生かした拠点整備ができた。
 課題2: 観光利用者のニーズに応える安全で快適な歩道や自転車道→穂高駅前広場・駅周辺の歩道整備や、湧水群探索路整備を行い、観光利用者の安全性や快適性が確保された。自転車道や自転車通行帯の不足。
 課題3: 長く滞在していただくための拠点整備→しゃくなげ公園と温浴施設の整備を行い、新たな観光拠点が整備された。
 課題4: 穂高駅周辺の既存商店街における来客者の減少と空き店舗の増加→既存商店街の空間整備を行い、既存店舗数の維持につながった。
 課題5: 商業地の景観形成や、地域と商業施設との回遊性を高める基盤整備→安曇野市の観光拠点にふさわしい商業地の景観を形成できた。回遊性を高める基盤整備が必要。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

- 観光関連事業者や農林漁業者をはじめとした全ての産業の事業者が、市民とともに地域の観光素材を掘り起こし、既存の観光資源と効果的に組み合わせることや、国内外に情報発信を行い、交流人口の拡大に取り組む。
- 社会情勢や消費者ニーズを的確に捉え、起業支援や経営支援、人材育成や事業承継の問題に取り組む、活力のある商業を創造して、賑わいのあるまちづくりを目指す。
- 安曇野市では、「自転車を活用したまちづくり」を進めている。市内にサイクリングコースを設定し、自転車に親しむ環境を作り、市民に自転車に乗る文化を醸成する。
- 商工会と連携して経営支援を行い、事業承継問題や廃業後の空き店舗活用策を講じていく。
- 市観光協会と連携し、平成30年度から取り組んでいるシェアサイクルの貸し出しステーションの利便性を向上させ、地域の観光資源、商業施設の回遊性を高めていく。